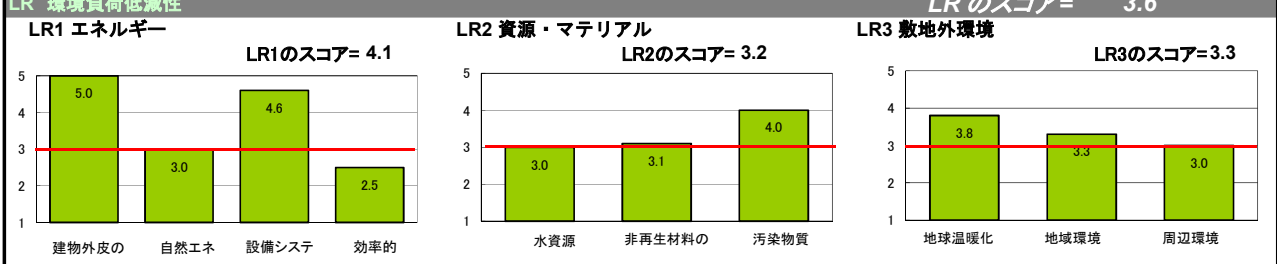
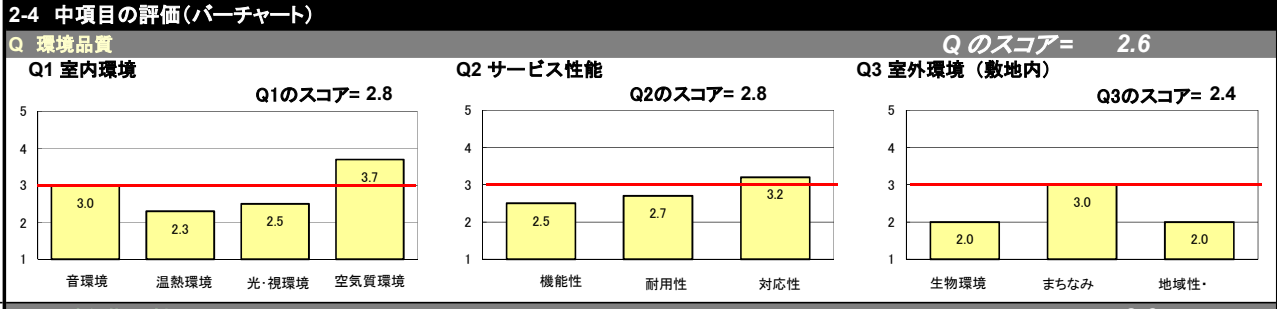
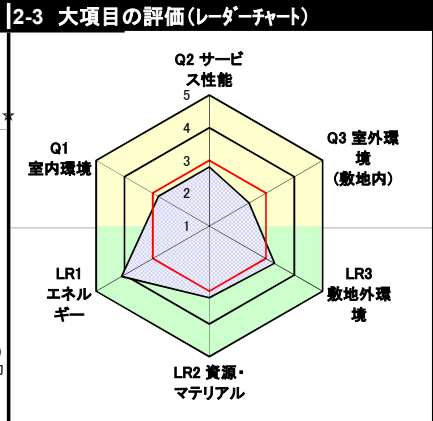
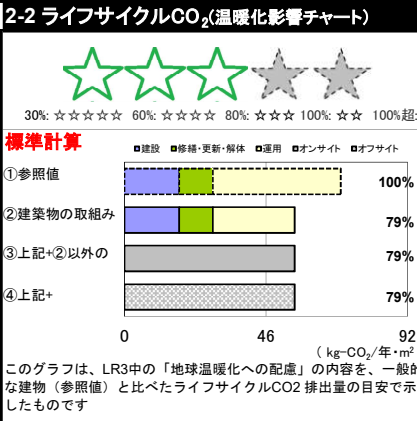
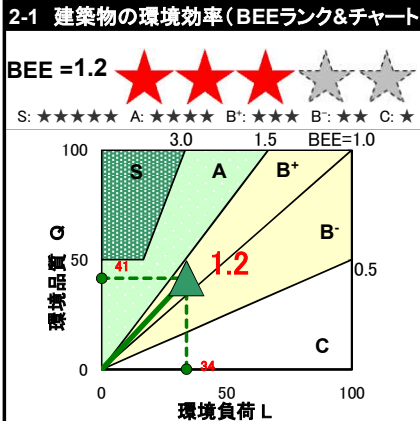


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ザルスタート株式会社 埼玉本庄配送センター新築工事	階数	地上3F
建設地	埼玉県本庄市見玉町見玉中島782番1(代表地番)地4番	構造	S造
用途地域	指定なし	平均居住人員	40人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,880時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年11月 予定	評価の実施日	2022年12月15日
敷地面積	6,362 m ²	作成者	竹並建設(株)大野
建築面積	2,915 m ²	確認日	2022年12月15日
延床面積	4,621 m ²	確認者	竹並建設(株)大野



3 設計上の配慮事項

<p>総合</p> <p>敷地の外周部には緩衝帯として緑地を設置し、建物配置は日影の考慮もして、北側に寄せて配置をした。 敷地出入口は南側の幅員9.0mに面した道路に接し、12mの門扉を設けることで一般車輛や搬出入車輛の通行において、道路環境への影響が出ない様な計画とした。</p>	<p>その他</p> <p>今回の計画に当たり、付近で手持ちの倉庫と貸し倉庫に製品を保管しており、2ヶ所の置場を1ヶ所にまとめることで、物資の移動の効率化と車輛による運搬経路が短縮されることで、車輛から排出される二酸化炭素や排気ガスを抑え、環境への負担を減らす。</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>屋根は断熱材を充填とした軸組み折板を採用し、屋根面からの熱影響を低減する計画をした。 主要な部屋については全熱交換機を採用し、冷暖房の負荷を減らすものとし、また照明器具については全LEDの照明器具を採用し、熱の放出低減への配慮とする計画とした。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>車輛の搬入口は一緒になるが、資材の搬出入と一般者の出入口が離れており、安全面に配慮する。 建物の北側が大空間のラック式倉庫となり、在庫の確保やより多くの出荷に対応が出来る。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>敷地の南北に傾斜が付いており、南側から北側へ上り勾配に造成している。 植栽部分への雨水は浸透となるが、建物屋根面と駐車スペース舗装の雨水は、北側と西側の浸透トレッチへ敷地内処理が出来る計画とした。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>モデル建物法において、事務所モデル+工場モデルとして集計し、一次エネルギー消費量 BEIm=0.64 の結果となり、1.00未満を達成している。 屋根面に建物の電灯分の電力を負担出来る太陽光パネルを設置し、自然エネルギーを取入れる。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>室内の水栓及び衛生器具などは節水タイプの器具を採用する。 外部アスファルト舗装及び路盤について、再生建材を使用する。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>北側に河川と堤防に沿って桜の木が植栽されており、敷地北側緑地と一体的となり緑地の効果(振動の吸収、防風・防塵、心理的效果等)が得られる。 雨水流出抑制及び合併処理浄化槽を設け汚水処理についても対策を実施している。 駐車スペース及び駐輪場を確保、また出入口となる道路に車両出入時の影響が無いように、門扉の長さを計画した。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
 ギャルスタット株式会社 埼玉本庄配送センター新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート 実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質							2.6
Q1 室内環境			0.33		-		2.8
1 音環境		3.0	0.15		-		3.0
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40		-		
1.2 遮音		3.0	0.40		-		
1 開口部遮音性能		3.0	0.60		-		
2 界壁遮音性能		3.0	0.40		-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-		-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-		-		
1.3 吸音		3.0	0.20		-		
2 温熱環境		2.3	0.35		-		2.3
2.1 室温制御		2.5	0.50		-		
1 室温		3.0	0.38		-		
2 外皮性能		1.0	0.25		-		
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38		-		
2.2 湿度制御		1.0	0.20		-		
2.3 空調方式		3.0	0.30		-		
3 光・視環境		2.5	0.25		-		2.5
3.1 昼光利用		3.0	0.30		-		
1 昼光率		3.0	0.60		-		
2 方位別開口			-		-		
3 昼光利用設備		3.0	0.40		-		
3.2 グレア対策		3.0	0.30		-		
1 昼光制御		3.0	1.00		-		
3.3 照度		3.0	0.15		-		
3.4 照明制御		1.0	0.25		-		
4 空気質環境		3.7	0.25		-		3.7
4.1 発生源対策		4.0	0.50		-		
1 化学汚染物質	仕上げに関して告示対象外建材、またはF☆☆☆☆材を使用。	4.0	1.00		-		
4.2 換気		2.3	0.30		-		
1 換気量		3.0	0.33		-		
2 自然換気性能		3.0	0.33		-		
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.33		-		
4.3 運用管理		5.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視		-	-		-		
2 喫煙の制御	建物全館禁煙として考えている。	5.0	1.00		-		
Q2 サービス性能		-	0.30		-		2.8
1 機能性		2.5	0.40		-		2.5
1.1 機能性・使いやすさ		2.6	0.40		-		
1 広さ・収納性		3.0	0.33		-		
2 高度情報通信設備対応		2.0	0.33		-		
3 バリアフリー計画		3.0	0.33		-		
1.2 心理性・快適性		2.0	0.30		-		
1 広さ感・景観		1.0	0.33		-		
2 リフレッシュスペース	食堂・休憩室を設け、十分なスペースを確保している。	4.0	0.33		-		
3 内装計画		1.0	0.33		-		
1.3 維持管理		3.0	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性		2.7	0.30		-		2.7
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数		2.6	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20		-		
2.4 信頼性		2.2	0.20		-		
1 空調・換気設備		1.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20		-		
3 電気設備		3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		-		
5 通信・情報設備		2.0	0.20		-		

3 対応性・更新性			3.2	0.30	-	-	3.2
3.1 空間のゆとり			4.2	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高を3.9m以上確保している。	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			2.6	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		2.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		2.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.37	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.1
1 建物外皮の熱負荷抑制		[BPI _m]= 0.73	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.64	4.6	0.50	-	-	4.6
4 効率的運用			2.5	0.20	-	-	2.5
集合住宅以外の評価			2.5	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		2.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.60	-	-	3.1
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.14	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			-	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.29	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		天井:岩綿吸音板、床:長尺塩ビシートの使用。	4.0	0.29	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.29	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.0	0.20	-	-	4.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		接着剤・シーリング材は、指定化学物質の含有なし。	4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	発泡剤を用いた断熱材未使用。(グラスウール使用)	5.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルコストCO2排出率79%。	3.8	0.33	-	-	3.8
2 地域環境への配慮			3.3	0.33	-	-	3.3
2.1 大気汚染防止		燃焼機器不使用。(給湯器・ガス器具・火気使用器具無し)	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.50	-	-	
2	振動		3.0	0.50	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県

重点項目シート






■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	ザルスタット株式会社 埼玉本庄西BEE	1.2	BEEランク	★★★
------	---------------------	-----	--------	-----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
3.8	+	2.3	=	6.1	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 		

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.8
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.8
建物廻りに緑地帯を設け、建物や舗装面からの熱上昇を和らげる。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.3
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
北側が河川敷になっており桜の木(千本桜)が植わっている。 敷地内の北側にも緑地帯が設けられているので、四季を感じられる空間になっている。			

:入力欄